

耳鼻咽喉科

担当医より

急な入院や処置が必要な症例に対して、可能な限り対応していける様努めています。

主な手術

※手術はおもに久留米大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授が担当しています。

- ▶ 内視鏡下鼻・副鼻腔手術
- ▶ 声帯ポリープ摘出術
- ▶ 声帯アテロコラーゲン注入術（声帯麻痺、声帯溝症）
- ▶ 唾液腺腫瘍ならびに唾石症手術
- ▶ 口蓋扁桃摘出術
- ▶ 甲状腺腫瘍摘出術
- ▶ 鼓膜形成術
- ▶ 鼓膜チュービング など

突発性難聴、めまい、扁桃周囲膿瘍、顔面麻痺、鼻出血

耳鼻科領域の疾患は、早期に治療を開始することにより重篤化を防ぎ、また治癒率の向上や後遺症を防ぐことが可能な疾患が多くあります。特に突発性難聴に対しては高気圧酸素療法を併用することで、治癒率の向上を目指しています。

睡眠時無呼吸症候群

睡眠時無呼吸症候群は重度の場合、放置すると高血圧、脳卒中、心不全、不整脈などのリスクが2～4倍に上昇するといわれています。C-PAP治療を行うことによって、そのリスクを減らすことが可能です。当院では診断のための検査は、外来・入院いずれでも対応しています。



C-PAP治療

寝ている間の無呼吸を防ぐために気道に空気を送り続けて気道を開存させておくというもので、CPAP装置からエアチューブを伝い、鼻に装着したマスクから気道へと空気が送り込まれます。

補聴器・耳鳴り外来

補聴器は適正に調整すれば非常に有効な器機ですが、残念なことに調整がうまくいっていない例が多くみられます。補聴器適合検査も行ったうえで調整を行います。また近年では耳鳴りにも補聴器が有効であることがわかってきました。難聴や耳鳴りでお困りの患者さんがいらっしゃったらご紹介下さい。



音声言語外来・小児言語外来・摂食嚥下外来

当院では言語聴覚士と協同で、言語障害や摂食・嚥下障害に対しても検査ならびに治療にあたっています。高齢者の嚥下障害に対しても嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を行い、指導を行っています。

小児の言葉の遅れ、不明瞭な発音、吃音、発達障害などは熊本大学小児科の協力を得て、対応しています。



社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2921



096-340-5001 (代表)
096-285-5453 (地域連携部)



aaa@kchosp.or.jp

